

# 特定非営利活動法人Mission ARM Japan 設立趣旨書

特定非営利活動法人Mission ARM Japanの目指すところは、疾病または事故などで上肢障害者となった人が、“心豊かに生活する”ためには、どのようにしていったらいいのかを模索し、支援しあい、片腕しか使えなくても不安なく生活できることを目的として活動します。

今日の厳しい社会状況下で、上肢障害者向けの便利な生活用品や義肢装具(義手や肩パッド)などの具体的な情報も少なく、不便なまま生活している人は数えあげられないほど多数います。

一人で悩まず、まず上肢障害を共有でき理解し合える仲間と話してみる機会があれば、同じような悩みを克服してきた人々のノウハウやテクニック、人間関係、社会制度の活用等の経験談が貴重な情報となり、またそこで得られる情報を元に上肢障害に関する福祉の増進に寄与できると考えられます。また上肢障害者には後遺症のひとつの“幻肢痛”と言う当事者にしか解らない激しい痛みに苦しんでいる人も多数存在しているのが現状であり、いまだ解明されていない幻肢痛の研究者や医療従事者との情報交換の場もあれば、今後の医学の進歩にも貢献出来るのではないかと考えられます。

また下肢の障害者の方には歩行やスポーツのための介助品、車いすなどの情報は多いとみられますが、義肢装具の装飾義手の分野に関しては情報が少なく、利用したくても技術者も少ないため発展途上の現状にあるとみられ、より一層の改善・開発がなされるべきと考え、専門業者とも情報交換を推進していき企画開発などを貢献していきたいと考えます。

人によって“障害の状況”はいろいろですが、障害があっても自立を目指し心豊かに生活を送りたいという願いは同じです。

上肢障害者のための様々な調査、情報発信が社会の理解と支援につながるよう活動し上肢障害者の生活の質の向上に寄与するために、特定非営利活動法人Mission ARM Japanを設立します。

平成26年 1月25日

設立代表者

倉 澤 奈津子